

# 仮設住宅などでのディアコニア報告書

2017年4月12日 Café de FUKUSHIMA 石川和宏

\*報告期間:2017年3月16日～3月25日(2017年第3次)(6会場,4仮設住宅 1自治会 2社協)

◇3月15日(水) 生鮮食品等仕入(COSTCO・ハナマサ) 横浜発 荷物搬入

◇3月16日(木) 宅配便荷受け・整理 仕込み

## 【1】3月17日 旧松川小仮設住宅(3回目)(松川町・飯舘村民)

全員が飯舘村からの避難者 46戸建設 24世帯 45人在住 昨年2月に続き3回目の訪問

飯舘村生活支援対策課の仲介

奉仕者は、石川和宏

### 支援の結果

- ・支援者を除く参加者12名(内男性5名) 総参加者13名 庖丁研ぎ5世帯5本
- ・皆さんに提供したのは、DVD上映(きみまろライブ第5集・コロッケ)・昼食(豚汁)・自家焙煎コーヒー(ケーキ・お菓子付き)・「飯舘村ニュース」(\*)・ビンゴゲーム・庖丁研ぎ
- \*飯舘村ニュース:筆者が収集した新聞報道などのニュースや他の飯舘村仮設住宅でのイベントの様子をまとめたもの。パワーポイントにリンクを貼り、リアルタイムでNET上の情報を映す。
- ・支援者の皆さん(諸教会)から送られた手芸に使う布地を差し上げた。中には、「これは着られる」という方もおられ、それでその後しばらく皆さんの会話が弾む。
- ・前は元気だった老婦人が、大分弱っていた。



### 皆さんから聞きしたこと

#### 《原発事故について》

- ・爆発の音を聞いた。何かが焼けたような臭いもした。
- ・当日は、みぞれが降っていた。(線量が高い原因)

#### 《仮設住宅の暮らしについて》

- ・飯舘村に置き去りにされたネコを拾ってきた。ネコがいると一人であるよりいい。6年経ったが未だ生きている。(一人暮らしの男性)
- ・村でも週1回ネコに餌をやっている。
- ・これからの生活の見通しが立たない。
- ・子どもが来ても(狭くて)泊まれない。



#### 《帰還について》

- ・やっぱり(飯舘にある)家がいい。娘は反対しているが帰る。
- ・孫は松川小学校に入る。今日は幼稚園の卒園式に行っている。
- ・若者がどれだけ戻るか?
- ・持病があるので、病院が近い所にと当面は考えている。
- ・村と仮設の両方に住んでいます。
- ・医者がいなくて困る。



《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・みんなで笑って、お腹がすいたら食べて、楽しかった。
- ・今回で 3 度目ですが、毎回とても楽しい一時を過ごさせて頂いています。
- ・気を遣って頂き有り難うございます。
- ・久しぶりにきみまろの話を聞き大笑いしストレスを発散できました。美味しい食事もご馳走様でした。



**【2】 3月18日 社協サポートセンター希望(仮設・借上対象・土曜の部)(初回)(南相馬市・小高区民)**

南相馬市社協「サポートセンター希望」が毎週開催している仮設・借りに住む方を対象としたデイサービス。送迎バスで、10時前に集まり2時半頃までの集会。ほとんどの時間を Café de FUKUSHIMA が受け持つ。

施設からの依頼で1月に続き2回目の訪問。参加者は、全員が小高区の方。

4月に社協の行事再編があり、土曜の部は今回が最終回になる。

支援者は、石川和宏

**支援の結果**

- ・支援者を除く参加者 13 名(内男性 3 名) 総参加者 19 名 庖丁研ぎ 4 世帯 6 本
- ・皆さんに提供したのは、DVD 上映(8 時だよ全員集合・コロケ)・豚汁・自家焙煎コーヒー(ケーキ・お菓子付き)・ビンゴゲーム・座り体操・庖丁研ぎ

◇3月19日 仕込み

**【3】 3月20日 千倉仮設住宅(3回目)(南相馬市・小高区民) 名古屋岩の上教会と合同**

鹿島駅に近い国道6号線沿い。94戸建設 30世帯在住 ほとんどが小高区からの避難者

NPO「つながっぺ南相馬」が常駐しサロンを開いている。今回は、連携して開催した。NPOのサロンは、今月で閉じられる。

昨年4月に続き2回目の訪問

支援者は、菊池氏 菊池千春姉 岡本直人兄 岡本真理姉(以上名古屋岩の上教会) 石川千鶴子 石川和宏

**支援の結果**

- ・支援者を除く参加者 16 名(内男性 2 名) 総参加者 22 名 庖丁研ぎ 12 世帯 13 本
- ・皆さんに提供したのは、プリサーブドフラワーアレンジメント・DVD 上映(2016 相馬野馬追・8 時だよ全員集合・きみまろライブ第1巻)・昼食(豚汁)・自家焙煎コーヒー(ケーキ・お菓子付き)・ビンゴゲーム・座り体操・庖丁研ぎ





## 皆さんからお聞きしたこと

### 《原発事故について》

- ・屋根葺きの仕事をしていた。地震の時は大熊町で屋根に上がっていた。屋根にしがみついた。

### 《仮設住宅の暮らしについて》

- ・仮設は狭いので、生活するのに困っている。
- ・役場の人は、直接仮設に来て、直接意見を聴いてほしい。
- ・病院が遠い。「サロン」がなくなるので、集まる場所がなくなる。

### 《帰還について》

- ・小高では農作物を作れない。(放射能で消費者から)相手にしてもらえない。
- ・今月末に小高に帰るが、買い物や話し相手のことで不安がある。
- ・小高は、ハエなどの害虫、野犬がいる。
- ・仮設から出て姑と一緒に原町に住んでいる。
- ・「平成 29 年 3 月 31 日に戻れ」と言われているが、戻った先の店の手当を考えてほしい。集会所の確保も。
- ・「治安」「交通手段(特に高齢者向けの巡回バス)」の手当をしてほしい。
- ・今の仕事が終わる頃帰る。
- ・ライフライン(店・病院・防犯対策など)が完璧になったら場合帰還する。
- ・買い物が不便だ。小高に帰っても話し相手がいない。

### 《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・楽しい気配りがあり、庖丁研ぎが良かった。
- ・3 回目の支援で、美味しいものや DVD で笑いました。笑えることが良かった。
- ・ボランティア(イベント)に余り参加できないのですが、今回楽しかったです。



**【4】3月21日 社協サポートセンター希望(仮設・借上対象・火曜の部)(初回)名古屋岩の上教会と合同**  
南相馬市社協「サポートセンター希望」が毎週開催している仮設・借り上げに住む方を対象としたデイサービスで、火曜日の部に登録されている方々。参加者は、小高区の方が多い。

施設からの依頼で初訪問。

東北ヘルプの川上直哉事務局長が参加されたので、皆さんに支援の挨拶をして頂いた。

### 支援の結果

- ・支援者を除く参加者 24 名(内男性 5 名) 総参加者 34 名 庖丁研ぎ 2 世帯 5 本
  - ・皆さんに提供したのは、プリザーブドフラワーアレンジメント・DVD 上映(8 時だよ全員集合・コロケライブ前半)・ビンゴゲーム・豚汁・自家焙煎コーヒー(ケーキ・お菓子付き)・座り体操・庖丁研ぎ
- 奉仕者は、岡本直人兄 岡本真理姉(以上名古屋岩の上教会) 石川千鶴子 石川和宏



### 皆さんからお聞きしたこと

#### 《原発事故直後について》

- ・家で孫の帰りを待っていた。卒業式の日だった。池の水が跳ねていた。震えた。
- ・地震の時、いつもは家を出るが、あの時は怖くて出られなかった。屋根瓦がガラガラと落ちた。
- ・原発が爆発するまで家に居た。
- ・石神第2小学校の体育館に一晚避難した。その後福島市に行った。
- ・原発からの避難であるとは誰からも言われなかった。
- ・直ぐ戻れると思って、財布も持たずに避難した。
- ・たまたまガソリンが入っていて、新潟の娘の所に行った。
- ・嫁の所に避難した。「未だ居ろ」とは言われたが、一ヶ月で出た。
- ・飯坂温泉に行き、そこから仮設に移った。小高の人は飯坂温泉に避難した人が多い。
- ・母ちゃんと父ちゃんかと娘が流された。息子と爺ちゃんが生き残った。
- ・避難所にはスクリーニングを済ませていないと入れてもらえなかった。
- ・スクリーニングの時は、上着は大丈夫だったが、放射能でセーターは脱がされた。

#### 《避難生活について》

- ・初めて米や野菜を買った。



- ・復興住宅で嫁と二人で暮らしている。小高の家には戻らないが、つぶさないでそのまましておく。先祖から継いできた家と土地だから。これで「自分は幸せなのだ」と言いかせている。過去は変わらないのだから。



- ・この4年間で家族を4人亡くし、仮設で一人暮らししている。もう1年仮設に居られることになったので、最後まで仮設で暮らすことにしているが、その先のことは分からない。
- ・家族で食べる野菜と米を作っていた。米は少し売っていた。震災前は足腰も元気だったのに、今は手押し車なしには歩けない。

#### 《小高区にある元の家について》

- ・小高の家は壊した。6年も出入りしないと何もかも腐ってしまう。(風通しのために)戸を開けていたが、「閉めてください」と貼り紙がしてあった。
- ・今家を建てているが、大工がいない。
- ・家のリフォームを発注しているが、着工してくれるのか分からない。「来年2月までには」と言われているが、3月の仮設入居期限に間に合うか心配だ。



#### 《小高の昔話》

- ・小高はカイコ様が盛んだった。
- ・戦争で空襲も経験した。(旧日本陸軍の飛行場や軍需工場があり空襲を受けた。)
- ・小高には無線塔があり攻撃された。
- ・勉強どころではなかった。2,3年生でも田植え・草取り・桑の葉摘みをやらされた。
- ・戦争があって、こうなって、私たちにはいいことがないな。(隣の人に向かって)

#### 《小高への帰還について》

- ・2週間ほど前に小高に帰った。生鮮食品を買いに行くにも病院の薬をもらいに行くのも、車で15分以上掛かる。避難指示解除になったが、生活できる環境にはなっていない。
- ・原発の廃炉作業が難航していると聞く。また何か事故があるのではないかと心配しながら暮らしている。
- ・私たちがこんな目に遭ったのに、再稼働するなんて考えられない。

#### 《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・今日は、楽しかった。
- ・生きてるとこういういいこともあるのよね。

◇3月22日 仕込み

## 【5】3月23日 牛越第3・第4仮設住宅(2回目)(南相馬市・小高区民)

2回目の訪問(前回は2015年9月)

各100戸建設されたが、80世帯程度の入居状況で、第4は40世帯を下回るという話しも聞いた。

支援者は、佐々木節子姉(シンガポールから) 石川千鶴子 石川和宏

### 支援の結果

- ・支援者を除く参加者28名(内男性5名) 総参加者31名 庖丁研ぎ10世帯10本
- ・皆さんに提供したのは、腹話術・DVD上映(コロッケライブ)・ビンゴゲーム・昼食(豚汁)・自家焙煎コーヒー(ケーキ・お菓子付き)・庖丁研ぎ

### 皆さまからお聴きしたこと

《仮設住宅の暮らしについて》

- ・部屋が狭い。

《帰還について》

- ・帰還します。家が出来次第。

《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・今のまま続けてもらいたい。
- ・継続してきて戴き、話を聞いてもらったり、楽しくしてもらいたい。
- ・楽しかったです。3ヶ月に1度やって戴けたらうれしいです。



## 【6】3月24日 飯館村南相馬自治会(7回目)(南相馬市・飯館村民)

1月に続き7回目。会場は、原町区の生涯学習センター。

全村避難の飯館村民で、南相馬市に避難し、みなし仮設などに住んでおられる方々の自治会からの招かれての開催。飯館村民は、家を建てるなどして浜通りに住む方が400名ほどいる。増えつつあるとのこと。

自治会からの要請で、2017年度も隔月開催になる。

支援者は、佐々木節子姉 石川千鶴子 石川和宏

### 支援の結果

- ・支援者を除く参加者34名(内男性6名) 総参加者39名
- ・皆さんに提供したのは、腹話術・DVD上映(きみまろライブ第7巻後半・コロッケライブ前半)・飯館村ニュース・豚汁・自家焙煎コーヒー(ケーキ・お菓子付き)
- 佐々木さんが三陸産のワカメを大量に持参して、皆さんに配られた。

### 皆さまからお聴きしたこと

《帰還について》

- ・こちら(南相馬市)に家を建てた。



- ・(南相馬と飯舘を)行ったり来たりしている。
- ・村では、バス停を少なくしてバスの運行をしている。帰村者が増えれば各停留所に停車するようになるだろうが、それでも一日に4往復程度だ。
- ・自分は、先祖代々の土地を持っているわけではないので、村には帰らない。土地のある人は、いろいろ迷って大変だと思う。
- ・村に帰りたいが、息子が「病院通いなど手伝うことができない」と言うので、ここに留まる。

《除染について》

- ・川(水路)などは、手が付けられていない。流入した土砂で狭くなっている。

《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・1ヶ月おきのこの会が私の生き甲斐になりました。(高齢のご婦人)



## 【7】まとめ

### 1) 今回のイベントのまとめ

出会った方々 127名(内男性26名) 総参加者169名 庖丁研ぎ 33世帯 39本

名古屋岩の上教会の皆さんやシンガポールの佐々木さんに手伝って頂きました。その分たくさんのお話が出来ました。(わたしも少し楽ができました。)

今回も5ヶ所でビンゴゲームをしました。

牛越第3第4仮設では、ミネラルウォーター(2リットル・6本入り160ケース)を配りました。原町区の水道水源は真野ダム(湖底にセシウムが沈殿)でなく、地下水を浄水して給水していますが、飲まない人も多いようです。

Café de FUKUSHIMA のシールを貼って自治会に依頼し各世帯に配って頂きました。



港南台キリスト教会や改革派中部中会の皆さまから、ビンゴの景品や手作りクッキーなど、たくさんのお品を頂きました。拙宅(横浜)向かいの杉森さんからは、大量のぬか漬(100年続くぬか床)を頂きました。支援者たちの「避難者に対する思い」をお話しながら、皆さまに楽しんで頂きました。

また、昨年末に頂いた大量の物資は、今回で全て被災者に渡し終えました。タオル・雑巾・(和服)布地・スリッパ・ビンゴ景品・缶詰などの食品です。訪問先によって被災者の事情は異なりますので、それを考えて持参しています。意外にも「これが喜ばれるのか?」と思うこともしばしばです。決して無駄になることはありませんでした。

### 2) 被災者・避難者の近況

#### ① 避難指示解除と福島県民

第一原発事故などによる避難者は、全都道府県で約12万3千人です。

福島県の自主避難者・10,500世帯26,600人は、3月末で住宅の無償提供が打ち切りになりました。自主避難者だけでなく避難指示されていた避難者の方々も「帰らないのは自己責任」になりました。戻らなくても住めなくても、家屋に固定資産税が掛かるようになります。

「こどもに戻るなど言われている」「自宅近くの線量は〇〇もある。戻れない」支援の現場では、たくさんの方が語ります。

「事故から六年という人為的区切りの後はもう、生活再建を自己責任に任せるというのでは、避難者は追い詰められるばかりだ。最悪の場合、自殺を選びかねない」(早稲田大学教授の辻内琢也さん 2017. 3.9 東京新聞)

#### ② 避難指示解除と放射線量

避難解除基準は、放射線量が年間20ミリシーベルトで、これは「事故時」「緊急時」の値です。チェルノブイリは、1mSv/年を超えると「移住権利」、5mSv/年を超える場合は、「移住義務」です。

「3回目の除染をしている」と言う避難者の方が何人かいました。山がちな地形や農業設備がある被災地では、都会と違い除染も尋常一様には出来ません。線量が、「隣とは違う」「道路の線量も真ん中と端では違う」のです。これを一絡げにして解除するので、戻る人は僅かになります。

#### ③ 2017年4月避難指示解除に伴う学校の再開

Café de FUKUSHIMA が支援している市町村の小学校再開は、次の通りです。

南相馬市小高区の小学校は、児童数が4校で62人、2010年度(705人)に比べ9割以上減少した。

今年度の新入生は4人。避難先(鹿島区)で仮設校舎だった前年度(2016年)からは2/3に減った。

親の住まいが小高区ではなくて、鹿島区などから通う生徒もいる。

同じく避難指示が解除された町村の小学校の生徒は、浪江町が、5人(2010年度1162人)、飯舘村



は、51人(同348人)、葛尾村は9人(同68人)である。葛尾村(帰還率6.2%)は、生徒が集まらず学校再開が1年延期となった。

親が帰還しないので、生徒の減少は当然です。放射能汚染が主因です。「地域の人口減少で職場もない」と、「農業など自然相手の生業が成り立たない」ので、親はそこでは生計が立たないのです。子どものいない地域は、復興は叶わないでしょう。

### 【8】Café de FUKUSHIMA のこれから

この報告にもありますように、未だ未だ支援(イベント)は、求められ、喜ばれ、必要です。

住民が半分になった仮設住宅でも、「未だ半分も避難者が残っている」という理解がディアコニアとして必要です。

仮設住宅の月間予定を見ると、Café de FUKUSHIMA のイベントが唯一という所もたくさんあります。

仮設の住民減少は、「何パーセントか」ですが支援者・ボランティアの減少は「何分の一か」です。被災者・避難者の支援者への期待は増えています。」

今回は、過去のイベントの写真を幾つかの仮設(自治会長)に配達しましたが、多くの会長さんから「また来て」「今度いつ来る」と言われました。

最近の傾向として、仮設を出た方が古巣のイベントに参加することがあります。ある自治会長さんは、「出た人の方が住民より多い」と語っておられました。「仮設を出た先で、話し相手がいない」のです。心ならずもではありますが、6年間同じ境遇で過ごした仲間は、避難者にとって貴重な財産です。自治会長さんには「仮設を出た方の参加も歓迎します」と話しています。

### 【9】今後のスケジュール

#### 2017年4月予定(7会場=4仮設 2社協 1屋外)4月27日～5月9日(2017年第4次)

(施設名一支援の対象者出身市町村名一施設所在地)

- ◇4月29日(土) 杉田農村広場 浪江町 二本松市(出身地 所在地) (未確定)
- ◇5月1日(月) 塩沢農村広場 浪江町 二本松市 (未確定)
- ◇5月2日(火) 社協元気塾 小高区 小高区
- ◇5月3日(水) 社協元気塾 鹿島区 鹿島区
- ◇5月5日(金) 子どもイベント 原町区 原町区 名古屋岩の上教会と合同
- ◇5月6日(土) 小池小草 小高区 鹿島区
- ◇5月8日(月) 松川第1 松川町 飯舘村

#### 2017年5月の計画(6会場=4仮設 1復興住宅 1自治会) 5月24日～6月3日(2017年第5次)

- ◇5月26日(金) 南相馬飯舘自治会(8回目)(南相馬市・飯舘村民) (未確定)
- ◇5月27日(土) 西町復興住宅(南相馬市・南相馬市民)(2回目) (未確定)
- ◇5月29日(月) 安達運動場仮設住宅(3回目)(二本松市・浪江町民) (未確定)
- ◇5月30日(火) 松川第2仮設住宅(3回目)(松川町・飯舘村民)
- ◇6月1日(木) 旧中郷小仮設住宅(3回目)(三春町・葛尾村民) (未確定)
- ◇6月2日(金) 貝山仮設住宅(3回目)(三春町・葛尾村民) (未確定)